

新潟県

公民館たより

2

February 2026
No.839



TOPICS

トピックス①

第47回全国公民館研究集会 東京大会の開催について

例年各ブロック（新潟県は関東甲信越ブロック、通称関ブロック）の公民館研究大会と兼ねて開かれている全国大会が、7年に1回、東京で全国から参集して開催されます。
その参加報告をします。概要は次のようでした。

1 大会主題

「ミライにつなぎひろげる公民館×公民館に新たなイノベーションをー」

2 日時

令和7年11月12日（水）、
13日（木）

3 会場

東京国際フォーラム
大会プログラム

1日目（11月12日）
アトラクション

「社会をつながり
音楽がひろげる」
演奏：ほこ あほこ
演奏：ほこ あほこ

(2) 開会式

主催者あいさつ、来賓あいさつ、表彰授与 など
基調講演
講師 山崎 亮 さん
(Studio)代表、関西学院大学建築学部教授、コミュニティデザイナー

演題 地域のミライをひろく公民館
地域の課題を地域に住む人たちが解決するためのコミュニティデザインに関わる中で、「公民館ほいやり方」や「公民館的なものを入れていく」手法を取り入れる実践など。

(4) シンポジウム
「ミライにつなぎひろげる公民館活動」
コーディネーター…
牧野 篤 さん
(大正大学教授)

河村 潤子 さん
(元文部科学省
生涯学習政策局長)

パネラー…
山崎 亮 さん
(「コミュニティデザイナー」)



会場：東京国際フォーラム



アトラクション：ハンドベル演奏

パネラー…
宮城 潤 さん
(那覇市若狭公民館館長)



満員の会場で会長あいさつ



基調講演



4名によるシンポジウム

2日目（11月13日）
対談：多様な学びをつなぐ対談
対談：牧野 篤 さん
(大正大学教授)
アサタワタル さん
(文化活動家)

(2) ムービー「若者が地域のミライをひろく」
監督：栗山 宗大 さん
(映画監督)



映画監督と浜松市、広島市の公民館長と対談



映画の主役の若者なども会場に

コーディネーターなど2日間
にわたってご活躍の牧野教授を
はじめ、著名な方や多方面で活
躍の方のお話を聞くことができ
ました。また、関係した若者を
はじめ地域の方の参加もあり、
公民館の幅広い役割や地域と
のかかわりを再認識し、公民館
のミライを考える貴重な機会と
なりました。

トピックス②

上越地域三市防災講演会兼
社会教育関係者研修会について

上越地域三市公民館連絡協議会の主催で、令和7年11月18日（火）に上越市頸城区のユートピアくびき希望館で表記の研修会が開催されました。防災をテーマにした研修のため社会教育関係者だけでなく幅広く約150名の出席者がありました。

講演会の講師は宮城県南三陸町志津川公民館の元館長の佐々木仁一さんで、演題は「東日本大震災で九死に一生の体験〜あの日を忘れない〜」で、東日本大震災の経験やその後の公民館運営で大切にしたいことなどを視覚に訴えながらお話されました。

災害時に生き延びるためには、気力を出し、最善の方法を瞬時に考え、それを信じて行動すること。まずは「今」を生きて明日まで生き延びること。臨機応変な対応ができる「脳みそ」を作っておくことが大切なことを話されました。

震災後の公民館運営で大切にしたいこととして、まずは水の確保。支援物資の仕分けをしながら本場に必要なるものを要請していく。支援団体やボランティアは断らない。子どもや高齢者を大切にして笑顔で接する。など「地域に密着した公民館運営を心掛ける」ことをお話されました。

アンケートには92%の参加者が「参考になった」と答えており、大変好評でした。「被災を受けた体験があり、言葉に重みがあった。」「人との繋がり大切さを感じ、日々の勤務に生かしたい。」「などの感想が寄せられていました。

日頃から防災への意識を高め、備えることの大切さを再認識しました。



講師の佐々木仁一さん

中越地区
公民館職員研修会について

日時 令和8年2月13日（金） 15:00～
会場 三条市中央公民館
講演会講師 株式会社つばめいと 齋藤優介さん
演題 「三条市周辺地域のものづくり」

下越地区
公民館職員研修会について

日時 令和8年2月25日（水） 13:30～
会場 新発田市生涯学習センター
テーマ 「これからも地域の拠点であるために
〜人々がつどい、つながる公民館をめざして〜」
講師 NPO法人みらいず works
小林さやかさん、乙川文香さん



佐々木さんが救出された時の様子

公民館総合補償制度

公益社団法人 全国公民館連合会

この制度は公益社団法人全国公民館連合会の団体制度です。市町村の公民館および自治公民館、また公民館に準ずるものとして全公連が加入を認めたその他の施設等は名称を問わずご加入いただけます。

3つの補償で公民館活動をサポートします。

- 1. 行事傷害補償**
全公連見舞金制度
+ 災害補償保険(公民館災害補償特約、熱中症危険補償特約)
- 2. 賠償責任補償**
賠償責任保険(施設所有管理者特約、昇降機特約)
- 3. 職員災害補償**
全公連見舞金制度+傷害総合保険
【就業中のみの危険補償特約、入院保険金支払限度日数変更特約(支払限度日数180日)】

補償範囲や対象者が広い制度です。

年1回の手続きで安心です。

掛金には割引制度もあります。

*このご案内は、本制度の概要を説明したものです。詳細については取扱代理店または引受保険会社までお問い合わせください。

■取扱代理店 (お問い合わせ・資料請求先) **エコー総合補償サービス株式会社** 〒101-0047 東京都千代田区内神田2-6-9
TEL: 0120-636-717 (通話料無料) FAX: 0120-226-916 (通話料無料)
(受付時間:平日9:15から17:00まで)

■引受保険会社 **損害保険ジャパン株式会社** 公務文教営業部 文教室
〒160-8338 東京都新宿区西新宿1-26-1 TEL 03-3349-4679 (受付時間:平日9:00から17:00まで)



(SJ23-13019) 2024年1月15日作成 [2401K-8]

第37回全国公民館セミナー参加者レポート

「公民館っておもしろい」

新発田市新発田地区公民館

大崎 裕次郎

今年のテーマは「つなぐ・はぐくむ・ひろく」次世代へとつなぐ公民館活動のしくみづくりでした。全国から68名の参加者と多数の講師の皆さん全員でテーマについて考え深めることができた3日間でした。

「1日目①講義「文部科学省における公民館をめぐる動き」

文部科学省総合教育政策局地域学習推進課長の高田様より、社会教育を取り巻く最近の動向について講義していただきました。社会教育に求められている役割やニーズが変化している中で、社会教育人材をハブにした人づくり、つながりづくり、地域づくりが注目されています。教育委員会の社会教育主事だけでなく、多種多様な人材の社会教育への参画が重要とされており、多様な社会教育人材をネットワーク

化し、地域の活性化などを図ることが求められています。改めて、求められている役割を理解し、多様な社会教育人材と連携・協働をすることが重要だと感じました。



会場の様子

「1日目②シンポジウム「次世代へとつなぐ公民館のしくみづくり」

益田市の大畑さんの事例では、ひとり推進監としてひとりつくりを進めていき公民館を拠点にひとりつくりを進めていきました。小学校の敷地に保育園や公民館を移転し、小学校校舎の一部を公民館機能として共用化して、そこに行けば多様な世代が自然と「ごちゃまぜ」になるように拠点を整備したり、地域の大人と子どもが対等に「対一」で語り合う「カタリ場」の活動などから、地域の大人と子どもが共に活動していく関係づくりを行っていたそうです。

那覇市繁多川公民館の南さんの事例では、地域の大人から子どもへつないでいく仕組みをつくるために、「すべりむん認定」制度を公民館で開設し、地域に根差した学びを地域に認められ、役立ちたい自分を地域・学校で発揮できるしくみづくりを行ったことで、自ら学び考える市民グループが増え、継続した学びを地域や学校で発揮し、様々な人に影響を与え、次世代の担い手となる若者が育ち、次へとつなげるしくみができました。

校舎敷地内に多様な施設を併設しハード面での「ごちゃまぜ」、地域の大人と子ども、多世代交流など、様々な人たちが「ごちゃまぜ」。「ごちゃまぜ」に関わり合うことで子どもたちだけでなく、地域も活性化していくとコーディネーターの青山さんはまとめていました。

「2日目①事例発表」

富山市神保公民館の永山さんからは、地域の魅力を発信、次世代へつないでいくために、インターネットの活用事例を発表していただきました。地域の魅力を

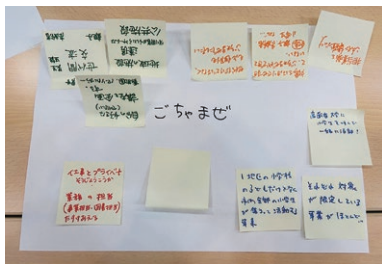
広げるためにインスタグラムでフォトコンテンツを行ったり、公民館事業の様子や地域の伝統を動画で撮影し、SNSに残す。誰かの思いや活動を形に残し伝えていくために、動画をSNSに残し伝えていくことは現代にもあっている次世代への継承方法の1つだと感じました。

吉賀町柿木公民館の円山さんからは、自分たちのまちは自分たちで創る。その土壌を作るのが公民館だと話していました。地域を創っていくにはまずは知り合うことから。「社会教育インフラ」と捉え、その土壌を整備していくのが公民館職員だと話していました。公民館職員として、地域の人が輝く舞台である公民館を整備していく。地域全体で創る公民館に憧れを持ちました。

「2日目②映画「若者が地域のミライをひらく」鑑賞&トークグループワーク」

「若者が地域のミライをひらく」という若者主体で地域活動や公民館活動を行っている事例を短編映画にしたものを鑑賞しました。鑑賞の後には製作に携わった方や出演した公民館の職員で、裏側や思いをトークセッションで語り合いました。若者主体で行う活動は元気がいっぱい、笑顔いっぱい。そんな様子を見た大人たちも笑顔になる、そんな雰囲気がとても良いし、地域が明るく活性化していくなと感じました。

地域には行動したいけどきつかけがなく埋もれている人材がいるかもしれない。どのようにアプローチしていくか考えて、



2日目グループワーク

もつと輝ける人を掘り起こし、地域と一緒に公民館を創っていきたいです。後半ではこれまでの事例や映画の内容をもとにグループワークを行いました。「ごちゃまぜ」をテーマに実践したいこと、していること話し合っって他のグループとも共有し合いました。実践している内容やしたい内容に対する策などを皆さんで話し合うことができて有意義な時間になりました。

「3日目：公民館の困りごとを解決」

公民館の困りごとと題し、これから仕事をしようで役立つ講義をしていただきました。著作権について、社会教育法第23条について、リスクマネジメントについて、講義をしていただきました。公民館職員として仕事をしようでよく困りごととしてあげられる内容を考察しながら、参加者全員で改めて考えていく良い機会となりました。さらに幅広い公民館事業ができるよう、改めて考え、業務に活かしていきたいと思えます。

今回の研修で公民館の可能性、公民館は面白いと改めて感じることでできました。これからもたくさん経験を積んでより良い公民館や事業を創ることができるよう、精進していきます。



集合写真



「目指せ!復活!豊浦音頭」

新発田市豊浦地区公民館 館長 長谷川 勲

豊浦地区公民館では、2年前に「しばたの心継承プロジェクト」の一環として、「豊浦音頭」を復活させる取組みを始めました。少子化の影響で、地区内の3つの小学校が1つに統合されました。それにより、地域コミュ



ニティが希薄化し、これを再構築したいという思いや、子どもたちの手で新たな学校や地域の歴史を築くという趣旨が豊浦音頭の継承と合致し、広く受け入れられました。豊浦音頭とは何か、と疑問に思われるかもしれませんが、豊浦音頭は旧豊浦町時代に作られた唄です。地域活性化を目的に、観光PRソングとも言える町民音頭が平成9年に完成しました。その当時、全世帯にCDが配

布され、地域のイベントでは皆で踊る機会も多く、新聞やテレビで取上げられ、大きな話題になりました。しかし、現在ではこの音頭を踊れる人がほとんどいなくなり、地域の貴重な宝のひとつが失われようとしています。そこで当公民館では、まずは指導者の育成と踊り手の発掘を目的に講習会を企画しました。その後、小学校でも豊浦音頭を取り入れてもらおうと考え、学

校の協力を得て運動会で踊ることが実現しました。この際、講習会の参加者に協力をお願いし、模範となってもらいました。現在もこの取組みは続いており、学校や地域を巻きこんでの活動は、公民館ならではの特色が生かされていると感じています。道のりはまだ長いですが、今後もより多くの人にこの踊りが伝わるよう努力を続けていきたいと思えます。



松之山朗読会

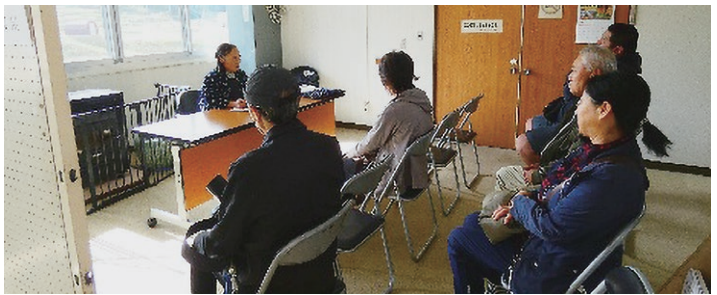
(十日町市松之山公民館)

朗読を通して日本語の美しさや方言などを学び郷土を愛する心の素晴らしさを伝えるため、10月までの第3水曜日の午後7時30分



まつのやま学園にて

ら午後9時までの間、活動しています。更に今年度は、地域の学校において松之山地域に伝わる伝説などの読み聞かせや松之山公民館祭りに、昔話の部屋を開設し地域に伝わる伝説を披露しました。



昔話の部屋

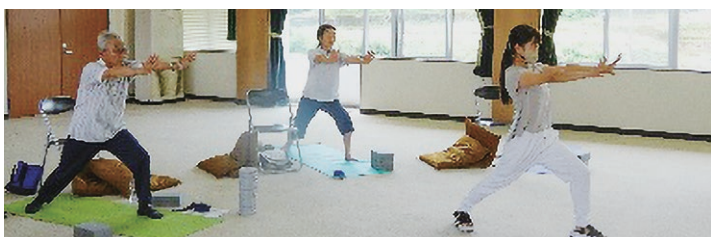
ヨガ教室

(十日町市松之山公民館)

「ヨガで心と体を心地よくリフレッシュ。男性も女性も簡単にスタートできます。」をキャッチフレーズに、毎月第1・第3水曜日の午後7時から8時の間活動しています。松之山産業祭の芸能発表会では、少しでもメンバーが増加するようにPR活動をしました。また、松之山高齢者学級「湯鳥大学」では、少しでもヨガの魅力を知っていただくために体験講習を行いました。



松之山産業祭でのPR活動



湯鳥大学時のヨガ講習

実践記録シリーズ

テーマ：男女共同参画事業 「パパといっしょにリトミック教室」

聖籠町公民館

1. 目的

- ・男女共同参画事業の一環として、男性の育児への参加を促すため、親子で遊べる時間を提供する。
- ・近年では父親の子育て参加は増えているが、「幼い年齢の子どもの遊び方がわからない」「メディアに頼ってしまふ」という声が聞かれる現状から父親が遊び方を知る機会になる。

- ・母親にとって子育てから離れリフレッシュする機会となる。
- ・冬期で体を使って遊ぶ機会が少なくなることから、室内で体を使って遊ぶ場を提供する。

2. 講師

リトミック研究センター新潟第一支局 小見 英晴 様

3. 内容

- ・ペットボトルマラカス・新聞紙・テニスボールといった身近な素材を使ったふれあい遊び
- ・親子で体を使ったふれあい遊び



講師



自己紹介、緊張した面持ちの親子



ボールを使ってリズムに合わせて転がそう

4. 当日の様子

【参加者】 親子8組16名（男児8名女児8名）

部屋に入ってきた時には、緊張した様子の子どもたちでした。会が始まり自己紹介をしている時、お父さんたちも少し緊張した様子でしたが、お子さんの名前を言って返事をする、パパも呼ばれて返事をするウォーミングアップをしていくうちに緊張もほぐれ、親子の笑顔が広がっていきました。

子どもたちはリトミックをこども園で経験しているので、徐々に気持ちも乗って、話を聞きながらリズムに合わせてお父さんと手を叩いたり、肩を叩いたりしていました。

パパの体にしがみついてパパの体を一周するコアラ



コアラゲーム（パパの体一周できるかな）



新聞紙を落とさないように歩いてみよう

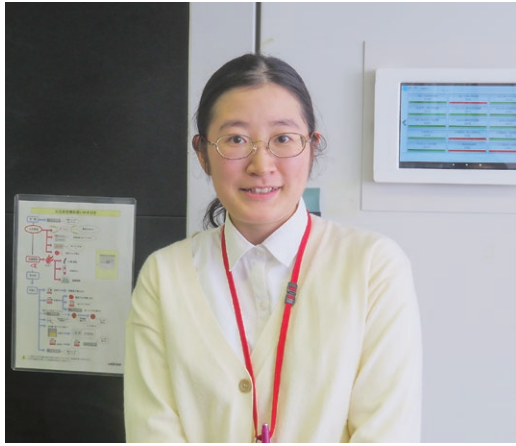
5. 今後について

今回パパ向けの教室は当会館では初めての企画でした。全体を通してあっといふ間の70分だったので、もっとたくさんの親子に参加してほしいと思いました。次年度もニーズを把握してリトミックに限らず様々な親子が笑顔で参加できる企画をしていきたいと思っています。

ゲームでは、しっかりと落ちないようにパパに抱まり、パパも落とさないようにさりげなく手で支えてフォローしている姿からお互いを信頼し合って楽しんでいる様子が伺えました。ゲームやシヨッピングなど楽しいものが溢れている時代ですが、特別なものがなくても、家にある身近なもので遊んだり、体を使って遊んだりすることで、子どもたちがこんなにも笑顔になるんだなということを感じられたのではないかと思います。

アンケートにも「また親子で体を使って遊ぶイベントをやってほしい」という声がありました。また、雪が多いこの時期、なかなか出掛けられない中、体を使って遊ぶ機会に子どもたちからも「楽しかった」という声がたくさん聞かれました。

素顔拝見



南魚沼市社会教育課生涯学習係

主事 阿部 志保さん

令和6年4月に採用され、生涯学習係で公民館事業を主に担当している阿部志保さんを紹介いたします。

出身は新潟市ですが、縁あって南魚沼市職員となり、中央公民館で日々の様々な業務に奮闘しています。困難なことがあってもキョートな笑顔で乗り切る頑張り屋さんです。

公民館主催の高齢者事業「しゃくなげ学級」を担当し、事務局として雑務をこなし、発表会や文化祭の開催準備などをコツコツと頑張っている姿は学級生の皆さんに愛されています。

また、子どもを対象とした料理教室や市の国際交流員と英会話交流を目的とした料理教室にも一生懸命に取り組んでいます。普段はあまり自炊しないそうですが、仕事はきちんとこなしています。

そんな阿部さんは、ケーキ店めぐりや読書が趣味だそうです。春からは体を動かすことにも挑戦したいとテニスを始めることを公言しています。

これからも様々な経験を積み、どんどんスキルアップして、公民館だけでなく南魚沼市民のために活躍することを期待しています。欲をいえば、せっかく南魚沼に来たのですから、もっとご飯を食べてもらいたいと思っています。

〔社会教育課〕

生涯学習係長 清水記

i インフォメーション i

毎年、各市町村から県公連事務局に市町村広報誌、社会教育だより、公民館広報紙、文芸誌や各種資料などをお送りいただきありがとうございます。今年度は、魚沼市、南魚沼市、聖籠町、新潟市小須戸地区公民館、村上市、新発田市などから拝受し感謝申し上げます。各市町村や担当課、公民館の取組や動きなどを参考にさせていただきます。

編集後記

令和6、7年度は新潟県が関東甲信越幹線公民館連絡協議会の事務局を担当しました。関プロ大会開催をはじめかなりの仕事量でしたが、皆様のご協力で無事に終わりほっとしています。

令和8年度から県公連の経費削減のため、事務局2人の勤務時間を減らします。お電話やご来所などは火曜日から金曜日の午前中をお願いします。1人だけの勤務日もありますのでご理解、ご協力をお願いします。

(五井)

イベントやセミナーのノベルティに

SDGsや脱プラ取組みのPRに!

半透明

ペーパーファイル

抗ウイルス・抗菌

ランチョンマット

印刷サービス



ファイルに直接書き込み可能。

紙製なので、ファイルに直接筆記具で書き込みが可能です。



合成紙シナップス使用

シナップスは100%PET基材の合成紙です。高い耐水性、破れにくい強度、静電気防止特性は、あらゆるシーンでご満足いただけます。

紙製のため、簡単に取り組める「SDGs」「脱プラ」として、イベントでの資料配付、ノベルティとしてご活用いただけます。

東京プリント社 PODチーム
〒951-8141 新潟市中央区関新1丁目2471番地
<https://www.tprix-order.biz>

詳しくはこちら

